

## 県下の地価公示の特徴

### 1 全 体

- (1) 継続調査地点 307 地点すべてで下落しました。
- (2) 用途別の平均変動率は、住宅地で-3.7% (0.1 ポイント縮小)、商業地で-5.0% (0.1 ポイント縮小)、準工業地で-3.7% (0.1 ポイント拡大)、工業地で-5.6% (1.0 ポイント縮小)、市街化調整区域内宅地で-4.7% (0.5 ポイント縮小) となり、準工業地を除き下落幅が昨年 비해縮小しました。

### 2 住宅地

- (1) 継続調査地点 191 地点すべてで下落しました。
- (2) 平均変動率は、-3.7%と 14 年連続の下落となりましたが、下落幅は昨年 (-3.8%) より 0.1 ポイント縮小しました。下落幅が縮小したのは、平成 20 年以来 3 年ぶりです。
- (3) 市町村別では、すべての市町村で下落となりましたが、軽井沢町 (H22 -7.0% →H23 -3.9%)、長野市 (H22 -3.8%→H23 -3.1%)、塩尻市 (H22 -2.4%→H23 -1.8%) など 13 市町村で下落幅が縮小、野沢温泉村 (H22 -6.3%→H23 -7.6%)、上松町 (H22 -3.2%→H23 -4.5%) など 24 市町村で下落幅が拡大、松本市 (-2.7%) など 7 市町村で昨年と同じ下落率となりました。
- (4) 長野市では、下落幅が縮小 (H22 -3.8%→H23 -3.1%) しました。
- (5) 松本市では、昨年と同じ下落幅 (-2.7%) となりました。
- (6) 最高価格地点は、長野ー13 (妻科神社南) で 90,700 円/㎡ (-3.9%) でした。  
これは、平成 12 年に標準地に設定して以来 12 年連続です。

### 3 商業地

- (1) 継続調査地点 86 地点すべてで下落しました。
- (2) 平均変動率は、-5.0%と 19 年連続の下落となりましたが、下落幅は昨年 (-5.1%) より 0.1 ポイント縮小しました。下落幅が縮小したのは、平成 20 年以来 3 年ぶりです。
- (3) 市町村別では、すべての市町村で下落となりましたが、東御市 (H22 -8.0%→H23 -5.2%)、小諸市 (H22 -8.5%→H23 -7.4%) など 12 市町村で下落幅が縮小、上松町 (H22 -4.1%→H23 -5.0%) など 19 市町村で下落幅が拡大、岡谷市 (-5.2%) など 4 市町で昨年と同じ下落率となりました。
- (4) 長野市では、下落幅が縮小 (H22 -5.0%→H23 -4.4%) しました。
- (5) 松本市では、下落幅が拡大 (H22 -4.0%→H23 -4.6%) しました。
- (6) 最高価格地点は、長野 5ー2 (長野駅前) で 430,000 円/㎡ (-6.3%) でした。  
これは、平成元年に標準地に設定して以来 23 年連続です。